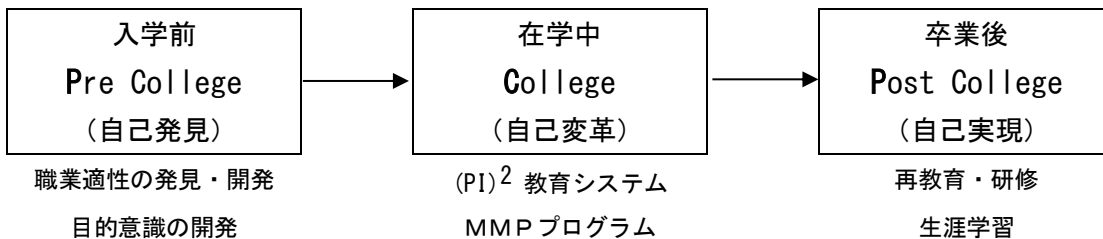


教育システム

本校は、医療業界、スポーツ業界で活躍する施術・リハビリテーションのプロフェッショナルに必要な知識、技術を授け、あわせて問題解決、コミュニケーションに必要な知識、技術を授け、社会に有用な人材を養成します。この目的を達成するために、私たちは教育への考え方を明らかにし、日常の授業、実習、研修、入学前教育、卒業後研修などを方向づけて運営しています。考え方の中でも特に重要なのは次の3つです。

1. PCP教育システム

PCP教育システムとは、入学前から卒業後までの一貫した人材育成のためのシステムです。入学前に自分の夢や将来の仕事を見だし（自己発見）、在学中にその夢の実現に向けて変身していき（自己変革）、そして卒業後あこがれの職場でプロとしての自分を完成させていく（自己実現）。そうしたプロセス全体のことです。



2. (PI)²教育システム

PCP教育システムの「自己変革(college)」期には、(PI)²教育システムと名づけられる本校独自の教育システムで学習に取り組んでいきます。

【第1ステップ】 導入教育 (Practice)

- ① 現在の自分（できること）と、将来の理想とする職業像（やりたいこと）をはっきりさせます。
- ② 将来の職業像にふさわしい態度と行動を独自の教材と教育法により身につけます。
- ③ 繰り返しにより、プロにふさわしい態度と行動を習慣にしていきます。

【第2ステップ】 専門教育 (Professional)

- ① 医療、スポーツ(運動)分野で求められる知識・技術・マインドを中心に、施術、リハビリテーションのプロフェッショナルにふさわしい専門知識を学びます。
- ② 施術・リハビリテーションの実技能力を、恵まれた施設での実践的指導で急速に高めます。

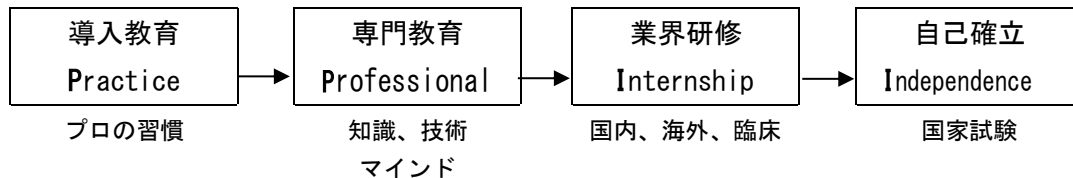
【第3ステップ】 業界研修 (Internship)

- ① プロフェッショナルとしての総合力（プロとしての習慣、知識、技術、マインド）を国内と海外の医療、スポーツ(運動)分野の施設、施術所（学校付帯施設）での研修・実習を通じ高めます。
- ② 海外研修先は、医療、スポーツの分野で世界的に高い実績を持っている施設で学びます。

【第4ステップ】 自己確立 (Independence)

プロフェッショナルへの第1歩は国家資格の取得からです

- ① 何のために資格を取得するのか。(目的意識の再確認・強化)
- ② 国家試験の仕組み・制度・出題傾向を理解し、到達点を認識する。(目標を設定)
- ③ 国家試験に対して自身の学習達成度を認識する。(自己分析、現状把握)
- ④ 合格に向けての課題を発見し、それに対応する学習計画を立てる。(問題発見から対策の立案)
- ⑤ 立てた学習計画を実行する。(対策の実行・評価)
- ⑥ 問題演習などを中心に繰り返し学習を重ねる。(反復学習、アウトプット)



3. MMPプログラム

本校のカリキュラムは、自立したプロの職業人として業界で活躍するために必要な能力である「モチベーション（動機づけ）」「ミッション（使命感）」「プロフェッショナル（職業的な知恵）」という3つの能力を修得する教育プログラムで構成されています。

①モチベーション（動機づけ）プログラム

～適性を見つけ、目的意識を育てるプログラム～

自分の適性を把握し、「目的意識」をもって学習に取り組む姿勢を身につけ、学習に対する強いモチベーション（動機づけ）を維持できるようにします。さらに、「教わる」という受け身の考え方ではなく、自分から「学びとる」という姿勢や、仲間との討議やグループワークを通じて問題解決するといった「自立学習」の習慣を身につけ、学習効果を高めるプログラムです。

■モチベーションプログラムを構成する3つの教育

入学前教育	合格からオリエンテーションまで継続的におこなう教育。学生同士がお互いに支えあう相互支援的集団づくりと目的意識の向上により、これからの学生生活への不安を解消する。
導入教育	入学生オリエンテーションから夏休み終了頃までおこなう教育。将来の職業像を確認し、学習の目的を捉え直して、目的意識の固定を図る。グループ活動を通じて、クラスの相互支援的環境を作る。
プロ意識教育	入学から卒業までおこなう教育。プロと接触（見学、対話、講演）し、プロについての知識を広げ、あこがれるプロや、自分のなりたいプロの具体的なイメージを持ち、学生である今もプロの職業人の一員であるという意識を持つ。

②ミッション（使命感）プログラム

～そのプロに必要な態度、思考、倫理とそれらの基本となる知識を身につけるプログラム～

「モチベーション（動機づけ）」と「プロフェッショナル（専門的な知恵）」をあわせ持っていたとしても、専門職の「使命感」を持っていなければ本当のプロとはいえません。このプログラムでは専門職としての「使命感」を育てるために、プロの職業人に必要な態度、考え方、倫理観、そしてそれらの基本となる知識を学びます。それぞれの専門職をとりまく疑問や課題について、学生が目指す専門職の立場から考えを深めていくプログラムです。

■ミッションプログラムを構成する3つの教育

健康	「健康な生活を送りたい」と考えることは誰しもあるが、病気や怪我によって障害を起こす。その治療後に、再発しないよう健康を維持し予防する為のアドバイスを与え、フォローすることも必要である。その為に必要な基礎知識を学習するプログラムである。
サービス	患者に対して的確なサービスを提供するためには、患者のニーズを聞き出すコミュニケーション能力が必要である。その為の理論や技術を学習するプログラムである。
信頼	患者との信頼を築き維持するためには、治療を行う際の衛生管理や治療内容などを他に漏らさない守秘義務を地道におこなうことが必要である。そのために必要な倫理観、管理意識を学習するプログラムである。

③プロフェッショナル（職業的な知恵）プログラム

～その仕事に必要な知識、技術、資格及びそれを現場で応用し役立てる力を育てるプログラム～

プロに必要な専門的な知識や技術、資格を身につけるだけではなく、現場の体験から自分なりに修得した、現場で応用し役立てる力（知恵）を育てるプログラムです。

■プロフェッショナル教育を構成する3つの教育

専門知識 技能	プロの職業人になるために必要な専門的知識、技術を体系的に整理して学ぶ。講義と演習をわかりやすく関連して学ぶ。
現場力教育	理論でカバーしきれない現場特有の混沌や矛盾にたじろがず、現場で体験したことの意味をよく考えることで、現場の現実と理論や理念を結び付けることができる力を育てる。就職してすぐに活用できるような生きた実践力を育てることができる実習を行う。
国家試験対策	国家試験合格にむけて、出題傾向分析、弱点補強など、徹底した受験対策授業をおこない全員の合格を目指す。

